



特集

伊達市合併20周年

新たな交通網が誕生

相馬市と福島市をつなぐ「東北中央自動車道」が、令和3年4月に全線開通しました。



▲開通式典



▲整備された東北中央自動車道

かつてない功績を手に

2022年夏の甲子園。聖光学院高等学校野球部は、福島県勢では51年ぶりとなるベスト4入りを成し遂げました。



▲2022年夏の甲子園
(写真提供「福島民友新聞 令和4年8月19日付」)

にぎわい創出の大きな一手



▲イオンモール伊達イメージ図

令和8年秋にオープンが予定されている「イオンモール伊達」。にぎわい創出の新たな拠点になることが期待されます。

度重なる災害

1,000棟以上の住家被害をもたらした令和元年東日本台風。それでも私たちは未来への歩みを止めませんでした。



▲浸水時の様子



▲災害ごみの仮置き場
(やながわ希望の森公園)

“働ける場所”の創出



▲伊達市新工業団地（保原地域）

保原地域に伊達市新工業団地が整備され、令和3年12月に第1期の予約販売が開始されました。

官民一体となった地域づくり

高子駅北側に住宅地が造成され、市内初の官民連携施設「U-プレイス伊達」がオープンしました。



▲アップデートシティふくしま

U-プレイス伊達▶

歩みはじめた20年前

今から20年前の平成18年1月、少子高齢化社会に対応した新たな地域づくりを目的に、伊達町・梁川町・保原町・霊山町・月舘町の5町が合併し、『伊達市』が誕生しました。



▲伊達市開市式典



▲被災した教室



▲給水に並ぶ市民の列

襲いくる自然災害の脅威

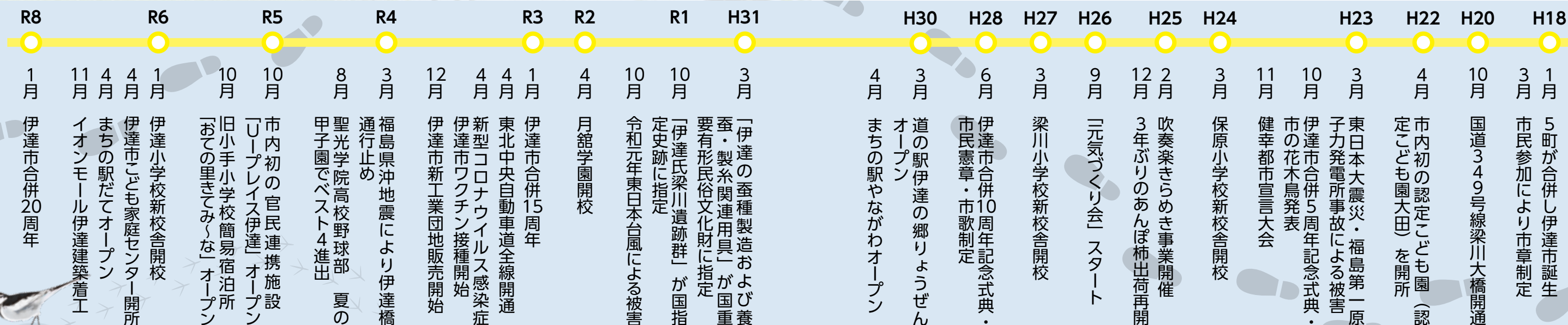
平成23年3月11日、未曾有の大災害となった東日本大震災が発生。原発事故による放射能の影響もあり、私たちの生活環境が大きく変わりました。

にぎわいの拠点が誕生

伊達市の観光や魅力発信の拠点として、平成30年3月24日にオープンした「道の駅伊達の郷りょうぜん」。伊達市のおいしいもの『伊達食』を堪能できるスポットとして愛されています。



▲道の駅オープン式典



ふり返る足跡